

情報リテラシー(第9回 後期)ハンドアウト

AI活用事例とその倫理的課題

1. 今日のねらい

- AIの活用事例を知る
 - バイアスやプライバシーの問題を理解する
 - データ分析でバイアスを体験する
-

2. 事例1：採用AIとバイアス

採用AIとは: 企業が採用にAIを導入。履歴書を自動スクリーニング、面接候補者を選定。

メリット: 効率化(数千件を短時間で処理)、客観的評価、コスト削減

実際の事例: ある大手IT企業が採用AIを開発 → 女性を低評価してしまう問題が発覚 → AIの使用を中止

なぜ起きたか: 過去10年のデータが男性中心 → AIが「男性=良い候補者」と誤学習

重要: データの偏り = AIの偏り。AIは過去の偏見を未来に持ち込む

3. 事例2：顔認識とプライバシー

顔認識技術: カメラで顔を撮影、AIが個人を自動識別、本人確認・追跡が可能

活用例: 空港の入国審査、スマホのロック解除(Face ID)、行方不明者の捜索、商業施設の防犯

監視社会のリスク: 常に追跡される不安、行動の自由が制限される、プライバシーがない生活

プライバシーの問題: 個人情報保護法(同意が必要)、誤認識のリスク(冤罪の可能性)、データ漏洩のリスク

☞ 安全 vs プライバシー のジレンマ

4. 事例3：ブラックボックス問題

説明可能性: AIがなぜその判断をしたかが分からない。複雑なモデルほど説明が難しい。中身が見えない = ブラックボックス

なぜ問題か: 判断の理由が説明できないと信頼されない、間違いに気づけない、責任の所在が不明確

問題となる場面: 医療診断AI(なぜその診断?)、融資審査AI(なぜ却下?)、採用判定AI(なぜ不採用?)

☞ 説明可能なAI(XAI)の研究が進んでいる

5. Colabの開き方

手順

1. Teamsのフォルダリンクをクリック
 2. 「採用データ.csv」を自分のマイドライブにコピー(右クリック → 「ドライブにコピーを作成」)
 3. Colabノートブックを開く(「ドライブにコピーを保存」をクリック)
 4. セル1を実行(Googleドライブへのアクセス許可が必要)
 5. データ分析開始
-

6. 提出課題

課題: 年齢層別の採用率を分析しよう

やること: Part 2のセル3とセル4を完成させる／グラフが表示されたらスクリーンショット(Win + Shift + S)／Teamsの課題に提出

注意: できる人は授業内でもOK、できなかった人は締め切りまでに

7. まとめ(キーワード)

採用AI／バイアス／データの偏り／顔認識／監視社会／プライバシー／個人情報保護法／ブラックボックス問題／説明可能性／XAI